

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 本庁・支所・出張所・出先機関との連絡・情報共有には不可欠である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 合併後、本庁・支所など異なる施設に分かれて、住民サービスにあたっており、リアルタイムな情報共有のため、必要である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由 ユーザ数については、職員数に限定することなく、幅広く業務で使用できるように整備している。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由 旧システムの不安定さが解消され、安定した状態で、各施設間での情報共有がリアルタイムに行われるなど、成果をあげている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由 ユーザ数の増には別途費用が発生するため、増やす予定はない。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由 各施設間での情報共有がリアルタイムに行われなくなる。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由 類似事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 リース金額のためできない。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由 最低限の人員(他業務との兼務)で行っており、減らすことはできない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由 受益者負担なし。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	計画を見直す必要はない。
		有効性	計画を見直す必要はない。
		効率性	計画を見直す必要はない。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	情報の共有化など職員の事務・事業の推進に支障のないよう十分管理すること。
		効率性	経費の執行については、節減に努め適正に行うこと

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。